MP3／WMA

MP3／WMAについて ……138～143
MP3／WMAを使う ……144～151
各部の名称とはたらき ……144
表示部（再生画面）について ……145
MP3／WMAを聞く ……146、147
MP3／WMAモードを終了する ……147
MP3／WMAディスクを取り出す ……147
1ファイルずつ選曲する（トラックを戻す／進める）…148
早戻し／早送りをする ……148
好きなフォルダを選ぶ ……149
再生モードを選択する（リピート再生）……150、151

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	☞142ページ参照	☞143ページ参照
対応ビットレート*2		

＊1印：
- DRM(デジタル著作権管理)システムのWMAファイルやプロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。
- Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

＊2印：
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
- VBRに対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)／WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

*1）：拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

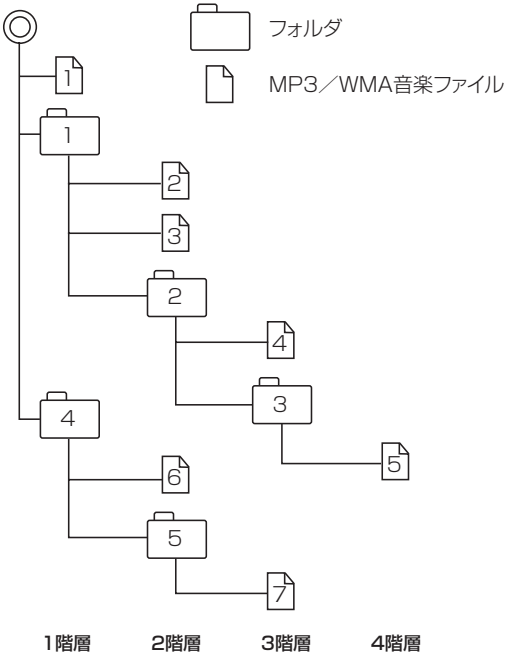
使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1（＊）およびレベル2（＊）です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。
上記フォーマット（＊）以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角32、半角64文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_（アンダースコア）、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数　：255（ファイル数＋フォルダ数）
- 最大フォルダ数　：100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行ないます。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3／WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3／WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

□CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数（kHz）		
16.000	–	○
22.050	–	○
24.000	–	○
32.000	○	–
44.100	○	–
48.000	○	–
ビットレート（kbps）		
8	–	○
16	–	○
24	–	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	–	○
160	○	○
192	○	–
224	○	–
256	○	–
320	○	–
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数（kHz）		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート（kbps）		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

MP3／WMAを使う（1）

各部の名称とはたらき

フォルダー ボタン
前のフォルダに戻ります。

フォルダ＋ ボタン
次のフォルダに進みます。

壁紙切替 ボタン（ ）
壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。
（323ページ）

MP3モード TOP画面（例）

再生モード ボタン
リピート再生の選択をすることができます。
（150、151ページ）

AUDIO ボタン
AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション／Music Rack／SD／USB／iPod／VTR／Digital TV／AM／FMモードからMP3/WMAモードに切り替えるときに使用します。（147ページ）

VOLUME ボタン
音量の増減を調整します。
▼：音量減　▲：音量増

トラック ボタン（⏮／⏭）
好きなファイル（曲）を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し（⏮）／早送り（⏭）します。（148ページ）

電源 ボタン（⏻）
オーディオモードを開始／終了（OFF状態に）します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

TILT ボタン（▲）
パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。
（146、147ページ）

Quick ボタン
カスタマイズ機能を使用することができます。（322ページ）

表示部(再生画面)について

音場(臨場感)表示

32～34ページ

※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中は EQ マークが表示されます。35～37ページ

リピート選択時に表示

REPEAT♪ 表示有：ファイルリピート時

REPEAT 表示有：フォルダリピート時

MP3モード表示

● WMAモードの場合は WMA となります。

ファイル番号／トラック名表示

(例)

再生状態表示

► :通常再生

▶▶ :早送り

◀◀ :早戻し

再生時間表示

タイトル名

フォルダ番号*／フォルダ名

ファイル番号*／ファイル名

アーティスト名

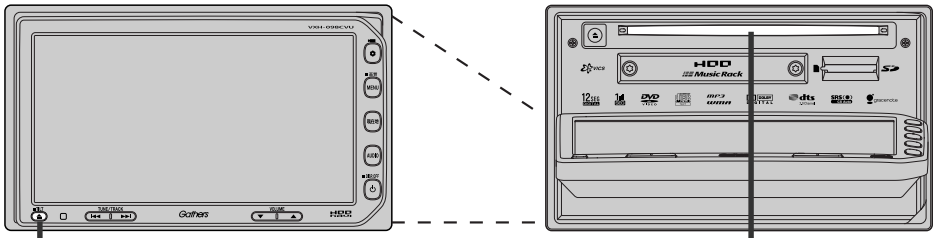
アルバム名

アドバイス

- トラック名／ファイル名／アーティスト名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
  ※*印：フォルダ番号／ファイル番号は作成したディスク(MP3／WMAファイル)によっては表示されません。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名／フォルダ番号・フォルダ名／ファイル番号・ファイル名／アーティスト名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、"No Title"と表示されます。

MP3／WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]　　[ディスプレイが開いた状態]



1 TILTボタン(▲)　　2 DVD/CD挿入口

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルのTILTボタン(▲)を押す。**

：ディスプレイが開きます。

アドバイス　ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2 **DVD/CD挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。**

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回MP3／WMAモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの電源ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を始めます。

① 電源ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3／WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの AUDIO ボタンを押す。

：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AUDIOソース画面のときは…

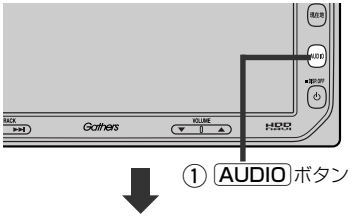
②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 AUDIO ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）



AUDIOソース画面（例）

②画面の CD ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」26ページ
「映像の調整のしかた」27～29ページ
「オーディオの調整をする」32～43ページ

アドバイス MP3／WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」24ページ

MP3／WMAモードを終了する

1 パネルの 電源 ボタン（⏻）を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3／WMAの再生を止めます。（オーディオモード終了）

MP3／WMAディスクを取り出す

1 90ページ CDを取り出す の手順 **1** 、 **2** にしたがって操作してください。

MP3／WMAを使う(3)

1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの[トラック]ボタン(⏮／⏭)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

※聞きたい曲のファイル番号を表示させます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

早戻し／早送りをする

1 パネルの[トラック]ボタン(⏮／⏭)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

⏮側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。

アドバイス それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。[トラック]ボタン(⏮／⏭)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の フォルダー ／ フォルダ＋ ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ＋ ボタンをタッチする。

MP3／WMAを使う(4)

再生モードを選択する(リピート再生)

再生モード(リピート)を選択することができます。

1 **画面の 再生モード ボタンをタッチする。**

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

MP3モード TOP画面(例)

手順 2 で選択した再生モードが表示されます。

2 **画面の リピート ボタンをタッチする。**

：リピート再生(繰り返し再生)されます。

再生モードの状態を表示

- リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているファイルのリピート再生

(TOP画面で REPEAT♪ マーク表示有)

↓

今聞いているフォルダのリピート再生

(TOP画面で REPEAT マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(マーク表示無)

アドバイス

TOP画面にマーク表示がある限りリピート再生を繰り返します。

3 **設定を終わるには…**

画面の 閉じる ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。

ラジオ

ラジオを使う……154〜163
各部の名称とはたらき……154、155
表示部について……156
ラジオを聞く……157
ラジオモードを終了する……158
プリセット1／プリセット2を選ぶ……158
選局する……159〜161
プリセット（メモリー）する……162、163
交通情報を受信する……164

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき

P1 / **P2** ボタン *

ユーザープリセット1(P1)／ユーザープリセット2(P2)を表示します。(158ページ)

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)
(P1／P2ボタン選択時)

壁紙切替 ボタン (🖼)

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。
(323ページ)

A.SEL ボタン

1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯)
※セレクトされた放送局は **プリセット** ボタン(1～6)に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット画面の切り替えとなります。
(161ページ)

AUDIO ボタン

AUDIOソース画面を表示します。
※ナビゲーション／CD／DVD／MP3／WMA／Music Rack／SD／USB／iPod／VTR／Digital TV／AM(FM)モードからFM(AM)モードに切り替えるときに使用します。(157ページ)

選局 ボタン(⏮／⏭)

手動／自動選局に使用します。
(159ページ)

電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

エリア ボタン *

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1～6)に表示します。
(160ページ)

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(322ページ)

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減　▲：音量増

プリセット ボタン(1～6)

- ユーザープリセット画面(**P1**／**P2** 選択時)のとき、1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(162ページ)
  (エリアボタン選択時は除く)
  ※呼び出しは、メモリーしたボタンをタッチします。
- オートセレクト画面(**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、オートセレクトした放送局を表示します。(163ページ)
  ※呼び出しはセレクトしたボタンをタッチします。

アドバイス

*印：オートセレクト画面(**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、**P1**／**P2**／**エリア** ボタンは表示されません。

更新 ボタン

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報（放送局）で表示しなおします。（160ページ）

次へ ボタン（ **前へ** ボタン）

エリアボタン選択時（表示灯黄色点灯時）に、エリアが7局以上ある場合 **次へ** ボタンが表示されます。
タッチするたびに次ページ⇔前ページと切り替わります。
（160ページ）

ラジオ（FM）モード TOP画面（例）（エリアボタン選択時）

エリア ボタン

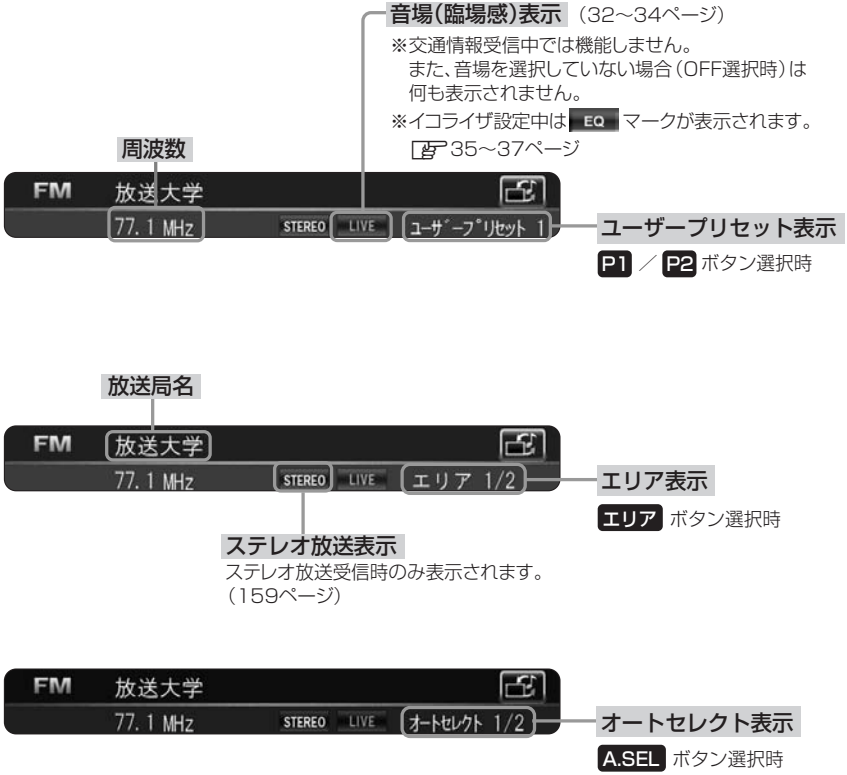
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン（1～6）に表示します。
（160ページ）

エリア表示 ボタン（1～6）

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン（1～6）に表示されます。（160ページ）
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く（1.5秒未満）タッチします。

ラジオを使う(2)

表示部について



※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回ラジオ(FM／AM)モード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの 電源 ボタン(⏻)を押す。

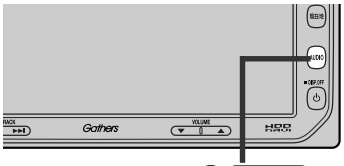
：ラジオ放送を受信します。

① 電源 ボタン(⏻)

□ ナビゲーションモードまたは前回ラジオ(FM／AM)モード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの AUDIO ボタンを押す。

：AUDIOソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



① AUDIO ボタン

□ AUDIOソース画面のときは…
②に進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…
もう一度 AUDIO ボタンを押す。

：AUDIOソース画面が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

AUDIOソース画面(例)

②画面の AM または FM ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。

ラジオの操作説明はFM画面の場合にて説明していますがAMも同様の操作手順となります。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」26ページ
「映像の調整のしかた」27～29ページ
「オーディオの調整をする」32～43ページ

アドバイス ラジオ(AM／FM)の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」24ページ

ラジオを使う(3)

ラジオモードを終了する

1 パネルの 電源 ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)

1 電源 ボタン(⏻)

プリセット1／プリセット2を選ぶ

P1／P2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

1 画面の P1 または P2 ボタンをタッチする。

：157ページ手順②で選択したモード(FM ／ AM)の プリセット ボタン表示となります。

P1 を選択するとユーザープリセット1、
P2 を選択するとユーザープリセット2の
プリセット ボタンを表示します。

※ プリセット ボタンを使っての選局は159ページを参照ください。

P1：ユーザープリセット1
P2：ユーザープリセット2

FMモードの場合

プリセット ボタン(1～6)

アドバイス

ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(P1 ／ P2 、 A.SEL 、 エリア)によって異なります。

ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面(P1 ／ P2 選択時)

エリア ボタンをタッチすると

P1 ／ P2 ボタンをタッチすると

ラジオモード TOP画面(例)
エリア表示画面(エリア 選択時)

A.SEL ボタンをタッチして表示灯を点灯すると

A.SEL ボタンをタッチして表示灯を点灯すると

ラジオモード TOP画面(例)
オートセレクト画面(A.SEL 選択時)

A.SEL ボタンをタッチして表示灯を消灯すると

A.SEL ボタンをタッチして表示灯を消灯すると

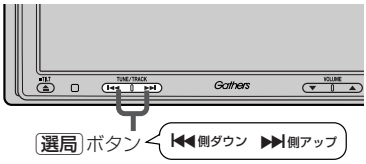
選局する

手動選局／自動選局／ユーザープリセット選局／エリア選局／オートセレクト選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの[選局]ボタン(⏮／⏭)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの[選局]ボタン(⏮／⏭)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に[選局]ボタン(⏮／⏭)を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス
- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ ユーザープリセット選局(P1／P2)で放送局を選ぶ場合

[プリセット]ボタン(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ[プリセット]ボタン(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「(プリセット(メモリー)する)」162ページ

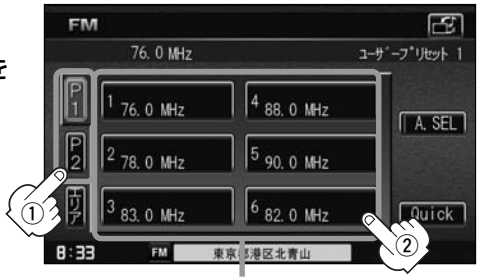
①プリセット([P1]／[P2])を選ぶ。

「(プリセット1／プリセット2を選ぶ)」158ページ

②呼び出したい[プリセット]ボタン(1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時



[プリセット]ボタン(1～6)

アドバイス
オートセレクト画面を表示している場合は[A.SEL]ボタンをタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を行なってください。

「■オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すには…」161ページ

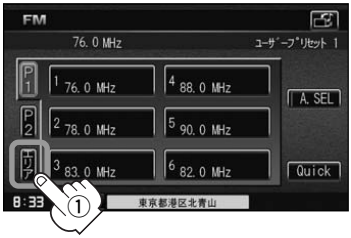
ラジオを使う(4)

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① エリア ボタンをタッチする。

ラジオ(FM)モード TOP画面(例)



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が エリア表示 ボタン(1～6)に表示されます。

② エリア表示 ボタン(1～6)の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリアが7局以上ある場合、次のページを表示する

エリア表示 ボタン(1～6)

※エリアが6局に満たない場合、表示ボタンの数は減ります。

：選択したラジオ放送を受信します。

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての エリア表示 ボタンに表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に 更新 ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 次へ ボタンは表示されません。7局以上ある場合は 次へ ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は 前へ ボタンをタッチします。
- ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(エリア または P1 ／ P2 、 A.SEL)によって異なります。
158ページアドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動で12局までメモリー)した放送局を プリセット ボタン(1〜6)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。
☞「 ■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合 」163ページ

① A.SEL ボタンをタッチする。

ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時（＊）

：オートセレクトでメモリーした放送局を プリセット ボタンに表示します。

② プリセット ボタンの中で聞きたい放送局をタッチする。

7局以上ある場合、 次へ ボタンタッチで次のページを表示する

プリセット ボタン(1〜6)
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

：選択したラジオ放送を受信します。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すには…

① A.SEL ボタンをタッチする。

オートセレクト画面

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ A.SEL ボタンをタッチするたびにオートセレクト／エリア画面↔ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。

表示灯

アドバイス

- A.SEL ボタンを1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。☞163ページ
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 次へ ボタンは表示されません。7局以上ある場合は 次へ ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は 前へ ボタンをタッチします。
- ＊印：ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(エリア または P1 ／ P2 、 A.SEL)によって異なります。☞158ページアドバイス参照

ラジオを使う(5)

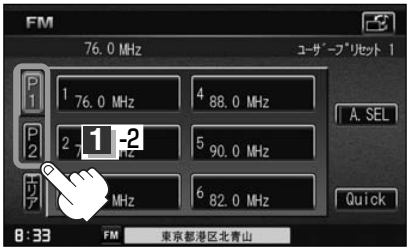
プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1 モード(AM／FM)を選択し、画面のP1またはP2ボタンをタッチする。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

2 プリセットする方法を選択します。(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)



■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、プリセットボタン(1～6)にメモリーします。

※プリセットボタンには、FM・AMの各モードでP1／P2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

①パネルの選局ボタン(⏮／⏭)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■手動選局で放送局を選ぶ場合／■自動選局で放送局を選ぶ場合」159ページ

②プリセットボタン(1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

ユーザープリセット画面(例)

① 選局ボタン(⏮／⏭)

プリセットボタン(1～6)

アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1**または**P2**をタッチし、呼び出したい**プリセット**ボタン(1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
  ☞「■ ユーザープリセット選局(P1／P2)で放送局を選ぶ場合」159ページ

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

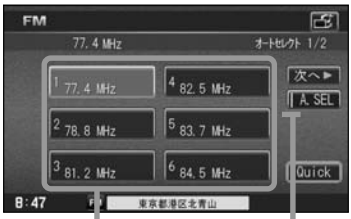
現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局までプリセット**ボタンにメモリーします。**

①画面のA.SEL**ボタンを1秒以上タッチする。**

ユーザープリセット画面(例)

：**A.SEL**ボタンの表示灯点灯し、受信した放送局を**プリセット**ボタンにメモリー(表示)します。

オートセレクト画面(例)



プリセットボタン(1～6)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい**プリセット**ボタン(1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
  ☞「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」161ページ
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL**ボタンをタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 パネルの AUDIO ボタンを押して AUDIOソース画面を表示させ、画面の **交通情報** ボタンをタッチする。

：交通情報設定画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

AUDIOソース画面

1 -1 AUDIO ボタン

交通情報設定画面(例)

■ 周波数の設定を変える場合

①交通情報設定画面のとき **1629kHz** ボタンをタッチする。

：1629kHzの交通情報を受信します。

※1620kHzに戻したい場合は **1620kHz** ボタンをタッチしてください。

2 交通情報の受信を止めるには…

パネルの 電源 ボタン(⏻)または他のモードを選択する。

：電源 ボタン(⏻)を押すと画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。AUDIO ボタンを押してAUDIOソース画面にし、モードボタンをタッチすると選択したモードに切り替わります。

アドバイス

次回 **交通情報** ボタンをタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。